

さとしょう

議会だより

No.105

2021.7.30



岡山県 里庄町議会



新型コロナワクチン接種

- 6月定例会 (2)
- 議長挨拶 (4)
- 5月臨時会(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時金交付) (5)
- 町政を問う！(6人が登壇) (7)
- シリーズ こんな活動をしています(手話サークルわかば) (14)

6月

定例会

令和3年第4回定例会は6月7日から15日までの会期で行われました。議案は、条例の一部改正4件、補正予算2件、里庄町道路線認定2件が上程され、すべて、原案通り可決されました。また、報告4件と請願1件がありました。

補正予算については予算決算委員会に、請願は総務文教委員会に、道路線認定は、建設福祉委員会に付託されて審査しました。さらに、里庄町議会会議規則の一部改正について、議員発議があり、全会一致で可決しました。

なお、一般質問には6人が登壇し、町の姿勢や考えを問いました。

一般会計補正予算の主な内容

- 自治総合センター
コミュニティ助成
230万円

子育て世帯生活支援
1163万円

新型コロナウイルス
感染症ワクチン接種
446万円

国民健康保険
特別会計補正
予算

傷病手当金
62万円
- 子ども子育て支援
206万円

農業振興費
75万円
- 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得のひとり親世帯以外の住民税非課税の子育て世帯に対し、対象児童一人につき5万円の特別給付を行います。

また、令和3年1月以降に家計が急変した、住民税非課税水準相当と認められれば対象となります。（この場合、申請が必要です）

荒廃農地を再生、利用促進してくれる人に、1反当たり最大15万円の補助をする費用の、不足分補充金です。

繰越明許質疑

繰り越しの内容は

仁科英議員 ごみ焼却施設建設事業で二つ繰り越しが出ているが内容は、**町民課長** 地元還元施設整備基本計画の策定及び民間活力導入可能性調査業務について、国の交付金をもらうため令和2年度に予算措置する必要があった。

最終処分場建設事業は、契約の遅れで令和3年度に繰り越し実施するもの。

6月補正の結果

会 計 名	補正後の金額	(補正額)
一般会計(第4号)	48億2509万円	(2195万円)
国民健康保険特別(第1号)	10億2965万円	(62万円)

空調設備、いつどのように

佐藤議員 小・中学校の

屋内運動場への空調設備
新事業は、いつ・どのよ
うな形で工事するのか。

教委事務局参事

既に、
施工は着手している。2
学期が始まる前日までに
は、事業を完了する見込
みで、現在工事を進めて
いる。

接種に行けない人への対応

仁科英議員

新型コロナ

ウィルス感染症ワクチン
接種事業は、どういう内
容で今回の補正が必要か。

仁科英議員

接種に行け

ない人への対応は。

副町長 包括支援センタ

ーで、高齢者の状況を把
握し、必要な状態ならば、
包括支援センターの職員
が迎えに行くことも考え
ている。

常任委員会報告

予算決算委員会

建設福祉委員会

6月10日に委員会を開
催し、関係当局の出席を
求め、慎重に審査いたし
ました。

集団接種会場運営など
の委託先、ワクチン輸送
の委託内容、集団接種の
日程について質疑や意見
がありました。

その結果、令和3年度
里庄町一般会計補正予算
については、全会一致で
原案を可決すべきものと
決しました。

また、令和3年度里庄
町国民健康保険特別会計
補正予算についても、全
会一致で原案を可決すべ
きものと決しました。

6月10日に委員会を開
催し、担当課である農林
建設課の案内で、現地の
調査及び確認を行い、慎
重に審査いたしました。

道路認定に当たっては
電柱や側溝は道路の幅員
に含まれているのか等、
敷地と道路の幅員との関
係に質疑がありました。

里見720号線、新庄
627号線共に、全会一
致で認定すべきと決しま
した。

町道の認定条件と基準は

眞野議員 開発団地の町

道として認定する条件と
基準は。

農林建設課長 県の基準

に合致し、5戸以上で
8割以上の入居があるこ
と。

眞野議員 位置指定道路

の土地自体に抵当権等を
除去・抹消した上で、町
に寄付することを条件に
申請すれば、町道として
認められるのか。

農林建設課長 寄付の書

類一式を提出し、議会で
認定されれば、認められ
る。

眞野議員 許可を受けた

後電柱を建て、幅員を変
えた場合、町の考えは。

農林建設課長 幅員が4

メートル以上あれば問題
ない。



里見 720号線



新庄 627号線

委員会

議長あいさつ



里庄町議会議長

岡村 咲津紀

皆さまには、日ごろより里庄町議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

このたび、5月臨時会におきまして、議員の皆さまのご信任を賜り、議長、副議長の要職に就任いたしました。身に余る光栄とともに、その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

昨年来、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっており、今もなお、

町民の皆さまの日常生活に大きく影響を及ぼしていると感じますが、その一方で、ワクチン接種の進展などにより、社会経済活動の本格的な再開が期待されているところであります。町議会といたしましても、皆さまに寄り添いながら、結束してこの難局を乗り越えてまいりたいと思っております。

里庄町は、交通アクセスや子育て環境の良さをはじめ、魅力ある町です。しかしながら、様々な課

題もあります。町民の皆さまの声を町政に反映し、ご期待に応えるよう、研鑽を積み、知恵を出し合いながら、町執行部と議論を深めることで、町政の監視機能を果たしつつ、本町が発展するように邁進してまいりたいと思っております。

結びに、町民の皆さまのご健勝、ご多幸を心より祈念して、就任のごあいさつとさせていただきます。



里庄町議会副議長

仁科 英麿

町条例

一部改正

税条例

個人町民税について、国外居住親族の取扱いを見直しました。

特定一般用医薬品等購入費を支払った場合の控除（セルフメディケーション税制）を令和9年度まで延長します。

介護保険

新型コロナウイルス感染症及びそのまん延防止のための措置により、収入が減少した被保険者に対し、令和2年度に続き、令和3年度も引き続き減免措置が講じられます。

心身障害者医療費給付

給付の判定についての所得制限を、老齢福祉年金制度を準用しているため、不利益が生じないように、施行日を令和3年7月1日にするものです。

国民健康保険

法律の改正に伴い、新型コロナウイルス感染症の定義を改正するものです。

議会人事

議長 岡村 咲津紀
副議長 仁科 英麿

建設福祉委員会
委員長 仁科 千鶴子

臨時会

令和3年5月11日第3回臨時会を開催し、専決処分3件、令和3年度一般会計補正予算1件の議案が上程され、すべて原案通り可決・承認されました。
なお、追加日程で議長・副議長の選挙を行いました。

一般会計補正予算の主な内容

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時金交付対象事業

121万円
感染症対策用の消耗品や備品を購入します。

243万円

庁舎の和式トイレを洋式トイレに改修することで衛生改善を図り、感染症拡大を防止します。

1400万円

学生に対し、里庄町の特産品やギフト券等を送付し、生活の支援を行います。

1110万円

分館が行う新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組を推進するとともに、新しい生活様式に必要な公会堂の備品等の購入を支援します。

122万円

高齢者の筋力低下などの身体機能維持を図るための備品として、体組成計を購入します。

2672万円

老人福祉センターの広間、事務所等、電気式空調設備に改修します。

2448万円

新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため公共施設の一部のトイレを改修します。

老人福祉センター2階
東公民館2階
西小職員トイレ(女性)
西小C棟、体育館、
A棟多目的トイレ新設

900万円

令和2年度に引き続き新生児1人につき10万円の出産支援金を給付します。

208万円

書籍除菌機等を設置します。

4328万円

新型コロナウイルスワクチン接種費用に係る委託料です。

(専決分)主な内容

PCR検査費用補助 200万円

令和3年度成人式参加者に対し、PCR検査等を受けた際の補助をします。

予防接種システム改修 100万円

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種に必要なシステム改修です。

質疑

13万円の差は

小野章議員 繰り越し明許費で補正前金額と補正後金額に13万円の差額があるのはなぜか。

健康福祉課長 デイリープフリーザーの設置費用等や委託料が下がったことや、消耗品費等を精査した結果、差額がでた。

町条例(税条例)

一部改正(関係分抜粋)

固定資産税

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、令和3年度に限り負担調整措置等により税額が増加する土地について、前年度の税額に据え置きます。

軽自動車税

自家用乗用車に関する環境性能割の税率を1%分軽減する臨時的軽減の適用期限を令和3年12月末まで延長します。

個人町民税

住宅借入金等特別税額控除について、控除期間を13年間とする特例措置を令和4年末までの入居分まで延長し、床面積の

臨時会

一 請 願（総務文教委員会）賛成多数で継続審査

「選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出を求める請願書」は継続審査

請願主旨

家族が同じ姓を名乗る夫婦同姓制度は、家族の絆や一体感の維持、重ねて子供の福祉に資するものであり、社会の維持に極めて重要な制度。よって、選択的夫婦別姓制度の導入に強く反対する。

総務文教委員会

6月10日に委員会を開催し、請願者の出席のもと、慎重に審査をいたしました。結果、賛成多数で継続審査とすべきものと決しました。

ここが反対！
早期の法制化が必要

佐藤耕三議員

法制化に反対する理由が、全てにおいて納得できない。
国家権力の支柱的役割として家制度が確立する中で夫婦同姓が義務づけられたもの。
強制的夫婦同姓制度をただし、早期の選択的夫婦別姓制度の法制化が必要。

賛否表

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席

議案名			議員名										議決結果
			平野敏弘	高田卓司	岡村咲津紀	小野光三	眞野博文	仁科英麿	小野光章	仁科千鶴子	佐藤耕三	藤井典幸	
5月臨時会	議案第32号	専決処分の承認を求めること	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	承認
	議案第33号	専決処分の承認を求めること	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	承認
	議案第34号	専決処分の承認を求めること	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	承認
	議案第35号	令和3年度里庄町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	可決
6月定例会	議案第36号	里庄町税条例の一部改正	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第37号	里庄町介護保険条例の一部改正	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第38号	里庄町心身障害者医療費給付条例の一部改正	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第39号	里庄町国民健康保険条例の一部改正	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第40号	令和3年度里庄町一般会計補正予算(第4号)	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第41号	令和3年度里庄町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第42号	里庄町道路線の認定	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第43号	里庄町道路線の認定	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	可決
	報告第1号	平成2年度里庄町一般会計繰越明許費繰越計算書	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	——
	報告第2号	平成2年度里庄町水道事業会計予算繰越計算書	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	——
	報告第3号	平成2年度里庄町公共下水道事業会計予算繰越計算書	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	——
	報告第4号	里庄町土地開発公社の経営状況の報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	——
	請願第1号*	選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出を求める請願書	○	○	—	○	○	○	○	○	×	○	継続審査
	発議第1号	里庄町議会会議規則の一部改正	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	可決

※継続審査に対する賛否を印したもの 注)議長は採決に加わりません。(賛否が同数の場合を除く。)

6人の議員が登壇して質問!

仁科 英磨 議員.....8P

- ① 災害情報システムの整備事業
- ② 新ごみ焼却施設建設事業の進め方

平野 敏弘 議員.....9P

- ① 地区懇談会
- ② コロナ対策

藤井 典幸 議員.....10P

- ① 地域防災力の強化
- ② 備蓄倉庫

高田 卓司 議員.....11P

- ① 災害情報伝達手段整備事業の戸別受信機の設置
- ② 町有地の管理は適正にできているか

佐藤 耕三 議員.....12P

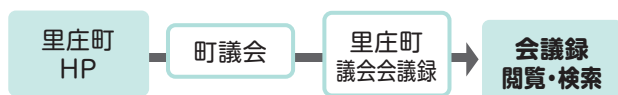
- ① 新型コロナウイルス感染症対策
- ② 戸別受信機の設置状況と交渉状況は

仁科 千鶴子 議員.....13P

- ① 遊具等の点検は

※一般質問の原稿は質問者が作成しています。

議会会議録は里庄町のホームページからご覧になれます
<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/satosho/pg/index.html>



6月定例会

一般
質問

町政を問う

停電対策の研究・検討を

町長／災害が起きる前の情報伝達に重点



仁科 英磨 議員

問

戸別受信機設置の進捗状況は。

総務課長

3月末施工済み1650件。その後の施工済みが、残工事分の234件。その後

の申込みが約20件。笠岡放送分201件も、受信機設置は町契約の事業者施工とする。

問

私は、3月議会

で、1500台の放棄により4000万円の損害を被ったと言ったが、笠岡放送分201台の受信機取り付け費も町の負担となると、それも損害では。

総務課長

反省しているが、1台当りの単価

が上がったという認識で、損害という認識ではない。

問

停電対策は。

総務課長

屋外拡声器及び戸別受信機は、

停電時には利用できない。スマホアプリ導入の普及等と連携させたい。

問

個人への2台目、役場、学校、その他の公共施設、民間も含めて人が多く集まる施設などへも拡大しては。

総務課長

学校は夏休み中心に設置。個人

宅別棟は様子を見たい。加入率の低いアパートへの呼びかけを検討中。飲食店、理美容室、病

町長

災害が起きる前の迅速、的確な情報伝達に重点を置いている。

問

起きた後の大混乱時に備え、拡声器で伝えられることが非常に重要。

町長

ぜひ研究・検討を。しっかり考えた

問

平常時に流す情報は、ぐっと絞

つては。

健康福祉課長

使い方を高齢者などにどう分か

町長

つてもらうか、考えたい。伝えなければならぬ情報は、これからも流す。

地元と組合だけではおかしい

町民課長／半径500mの同意を得た

問

金山に新ごみ焼却施設を建設する計画が、町民の大多数には何の説明もないまま進められている。何がいつどこで決められたのか。また今後は。

町民課長

西部衛生組合が、平成22年度から候補地選定に着手し、24年度に学識経験者を含めた委員会を設けて絞り込んだ後、西部ブロック協議会が、最終的に現敷地内に決定した。

その後、周辺地区で説明会等を開催し、今年4月に建設同意を得た。

同意の法的定めはないが、県が産業廃棄物の処理施設を許可するときを参考に、半径500mの範囲にしたと聞いている。

4年度工事着手、7年度末竣工を予定。

今後、建設に係る負担金の予算計上時に、里庄町議会の審議にかかる。

建設費は約140億円、里庄町の実質的な負担額は、4億〜4・5億円。

問

健康に影響があるかも知れない。町財政への影響も大きい。だから、半径500m以内の住民の同意をとる

だけでいいという考えは変えてもらいたい。排煙は、遠くまで飛ぶ。いつ、誰に、どういう説明をしたか。

町民課長

令和2年3月、10月に、金山及び干瓜の役員会及び住民及び堂迫の役員会に、環境影響評価について説明。今年も、金山地区5カ所で説明会を開催した。

問

どここの住民が同意したのか。どういう要望があったか。

町民課長

里庄町では、金山と干瓜。分館から組合への要望で、地域活動の支援と道路等のインフラ整備等。

問

地元住民と組合だけでは、おかしい。環境への影響の測定点の現状及び今後の考えは。

町民課長

現在は、ない。調査の中で検討するよう、組合に伝えたい。

平野 敏弘 議員



地区懇談会での意見は

町長／交通安全施策に関する要望

問

地域の懇談会は、いつから始め、どれくらいの分館を回ったのか。

町長

昨年9月から開始し、現在8分館で実施した。

問

分館からの出席者数は。

町長

人数は大体10人くらいで19人が一番多かった。

問

コロナ対策は。

町長

密を避け消毒液を用意し、換気をする。マスク着用してもらい、分館の方もコロナ感染対策に配慮している。

問

意見の内容は。

町長

玉島笠岡道路や浜中バイパスの完成時期や生活道路、水路やため池の管理等、交通安全施策に関する意見や要望もでた。

対策が打てるものは対策を打ち回答する。

行事実施の判断は

町長／近隣市町の状況で判断

問

コロナ対策について、県知事から不要不急の外出を控え、感染対策を徹底するように県民に呼びかけている。町の行事で感染が起らないよう注意を払い、県外や感染者の多い地域から来町が見込まれる行事については、中止や延期などを行い、感染が広まるようなことは絶対にあつてはならない。

町の行事にはどのようなものがあるのか。

町長

成人式、夏祭り、産業文化祭、消防関係では操法訓練大会や出初めなど多くある。

問

行事実施の判断基準は。

町長

県の状況や、近隣市町の状況を加味し判断する。

最終的に、庁舎内で感染対策本部会議を開いて決定。

問

町民の命より大事なものはない。町長の考えは。

町長

参加者の、安全確保ができない限り開催はできない。

問

安全対策として医者や感染症の専門家などの意見を聞いたかどうか。

町長

浅口の医師会長や町内の医師にアドバイスをもらい進めてきた。

問

コールセンターが通じない。1日何件程度の電話がかかってきたのか。

副町長

集団接種は、720人の予約が2日で埋まる状況であった。現在は、1日当たり10件から20件程度である。

問

コールセンターはいつ頃までするのか。また開設費用はどのくらいか。

副町長

希望する全ての町民が、2回接種を完了するまで。費用はひと月当たり約130万円を見込み、国の補助で町の負担はない。

問

休日でもコールセンターは対応しているのか。対応していない場合は、どうするのか。

副町長

コールセンターは、休日の対応をしていない。インターネットによる予約を予定している。

問

コロナ対策で、職員に休暇を取るよう指示した。今後、町長が指示し、職員に休暇を取らせコロナから守るよう考えてもらいたい。

町長

国から、分散休暇を促す通知があり、職員に年末か年始のどちらかで休暇を取得するよう指示した。今後も引き続き、感染防止につながる対策について、積極的に取り組む。



接種後の待機

全ての地区に救助資機材を

総務課長／考えていない

問 里庄町でも災害に備える必要性から、自主防災組織の立ち上げが進んでいるが、町の自主防災組織率は56%で、早期に100%にならないのはなぜか。

目的とした防災資機材更新事業など。

問 地域の安全・安心は、住民の協力や助け合いで支えられているが、自主防災組織のない地区は救助用資機材も整備できない。

総務課長 地域によって温度差があるが、「地域の防災リーダーとなる人がいない」「災害は起こらないだろう」などの理由や意見がある。

組織のあるなしに関係なく、全ての地区に最低限救助に必要な資機材は設置しておく必要があると思うがどうか。

問 里庄町自主防災組織活動補助金の内容は。

総務課長 資機材購入に係る補助をする防災資機材整備事業、平時の活動を補助する活動支援事業、資機材の更新を

現時点では、自主防災組織のない分館に、資機材を設置することは考えていない。まずは自主防災組織を立ち上げ防災意識を高め、いくことが必要であると思っている。

平成30年豪雨で被害のあった殿迫分館大所地区の道路のかさ上げ工事や池田用水の改修工事を実施することで大雨時の増水対策を進めている。

問 普段はベンチだが、災害や緊急時に担架として使用できるレスキューベンチを設置したらどうか。

総務課長 研究、検討をしていきたい。

問 避難路等における危険箇所の調査状況と対策は。

農林建設課長 避難時の危険箇所を解消するため、ブロック塀等の撤去費用の一部を補助する制度を設けている。

平成30年豪雨で被害のあった殿迫分館大所地区の道路のかさ上げ工事や池田用水の改修工事を実施することで大雨時の増水対策を進めている。



藤井 典幸 議員

備蓄品は

総務課長／非常食や衛生用品など



備蓄品

問 里庄東公民館と仁科会館に防災備蓄倉庫が設置されるが、備蓄品の集中管理を分散備蓄とした理由はなぜか。

総務課長 防災倉庫を設置すれば、備品を運搬しなくても避難所を開設できるので、分散備蓄とした。

問 全国的に、避難所運営は住民主体運営が望ましいとされています。その避難所で使う物品を行政管理だけでは、避難所運営は難しいと思うがどうか。

総務課長 行政と地域が一体となつて備蓄倉庫の管理ができる姿がベストだと思っている。

問 どのようなものを防災備蓄倉庫で備蓄するのか、また数量は。

総務課長 非常用食料500食、毛布50枚、マスクやおむつ等の衛生用品などを備蓄する予定。

高田 卓司 議員



4000万円の損失を どう考えているか

町長／見込みが甘かったと責任を感じている

災害時に早く住民に災害情報を伝達するために戸別受信機設置事業を進めてきたが、当初の想定より少ない設置である。

問

3月議会の時2100戸設置との答弁だったが、その後何戸増えたか。

総務課長

20件程度である。今後アパートの設置をお願いすればもう少し増えると思う。

問

アパートの人はいつまで住むかわからないので、配線の取付等オーナーの負担になるので増えるとは思えない。

当初全世帯4600戸設置、という想定で発注し支払いをしている。しかし設置が予定より少なく3100戸に変更し1500台返品して、約4000万円の損失を出している。

変更後の設置予定戸数(3100戸)でもあと800台どのようにするつもりか。

もりか。

総務課長

公共施設、個人事業者、学校など今後10年間の計画で考えたい。

問

約4000万円の無駄遣いの責任を町長はどう考えているか。

町長

最初から例えば80%の設置率というような想定はしていない。漏れなく災害情報伝達を進めたいという考えで進めてきた。

実際は3100台を指すよう変更した。1500台返品することについては、見込みが甘かったと責任を感じている。

弓道場の借地料を 払ってはどうか

町長／引き続きお願いしたい

問

財政が非常に厳しい状況にあつて、分館からの要望、修繕もなかなか聞いてもらえない。

しかし町は行政上必要な土地は購入し、あるいは購入できない場合は借地をして行政を行っている。

町民は施設利用する時は応分の受益者負担をしている。

塩漬けの土地等は適正に管理できているのか。

副町長

国土調査の成果や道路改良等の事業により、公有財産台帳を更新して管理している。一部の土地については、シルバー人材センターに草刈り等を委託し適正に管理している。

塩漬けになっている土地は、何らかの方法で処分していくことも望ましい。

いと考えている。

事業の残地など利活用ができる土地は、団地や企業からの要望を受けて貸し出すなど、有効活用している。

問

役所は不用品な土地を持つようになつていない。不用品な土地は早期に処分するべきである。

売れば税金も取れ、税収も増加するのでは。

副町長

今後は不用品地は活用を考え、最も町にとってメリットが大きいが多角的な視点で考えていきたい。

問

前向きで本気で考えてほしい。弓道場は神社の土地を不法に占拠しているが、なぜ借地料を払っていないのか。

い、払ってはどうか。

教務事務局 参事

国土調査により民有地を占有した形は確認している。隣接地関係者と交渉を進め合意したい。

町長

神社は恐らく神社庁の所有と思われるし、使用料を払うのはどうかと思う。

問

神社庁のものではない。地域の氏子のものである。

町長は神社の総代長をやった経験があるのに知らないのか。

神社の収入がなく維持管理ができなくて困っているのに借地料を払ってはどうか。

町長

無断で使っているという認識はない。実際40年間、問題なく使用してきたので引き続きお願いしたい。

首長の先行接種どう考える

町長／無駄になるときは
状況を見て打ちたい



佐藤 耕三 議員

問

町長は3月、県のPCR検査の体制、GOTOイートの再開に理解を示していたが、今も変わらないか。

町長

県の対応には理解している。

問

PCR検査の対象を広げる考えは。

町長

岡山県の方針に従う。

問

なぜもっと早く成人式の延期を決めなかったのか。

教育長

特に大事な式。できるだけ配慮し、やりたいという強い思いがあった。

問

ワクチン接種の予約がなかなか取れないという声も聞いたが、改善すべき点は。

副町長

インターネットでの予約を導入するなど、スムーズな予約に向け対応を検討する。

問

6日の集団接種の際、混乱はなかったのか。

副町長

240人が接種し、特に混乱はなかった。

問

首長のワクチン先行接種についてどう考えるか。

町長

実施する場合はあらかじめ考えを公表しておくのがいい

問

と考える。急なキャンセルでワクチンが無駄になる状況であれば状況を見て打ちたい。

教育長

オリンピック観戦に向け子どもに動員がかかった場合は従うのか。里庄町の学校では参加しない。

問

町内出身の学生への支援事業で、何を支援するのか。

教委事務局長

町内企業の製品、調達した米や感染症対策用品、生活必需品、また町長や協力した企業からのメッセージも送る。



学生支援物資(イメージ)

問

戸別受信機1500の返品の原因は。

総務課長

世帯分離の世帯やアパート世帯の申込みが少なかった。

問

戸別受信機は、全てのテレビにつくような形で説明を受けていたが、取り付けられなかった件数は。

問

取り付けが出来ない受信機に対し、44条の契約不適合責任をもって減額は可能ではないのか。

町長

企業に責任がある場合は、当然請求していかないといけないが、個々の状況等により接続できないのなら44条の適用にならないと考える。

問

戸別受信機の操作が難しいと聞いている。戸別受信機操作のガイドをつくり各家庭に配布しては。

総務課長

今後、戸別受信機の設置を促すとともに、利用方法について分かりやすく周知していくことを検討している。

チラシについては近々作成していきたい。

操作ガイドの配付を

総務課長／近々作成していきたい

仁科千鶴子
議員



管理責任は、どこ

教育委員会事務局参事／町

問

遊具の点検は、誰がどのように実施し、その報告をしているのか。

参事
事務局

毎月一回、教職員が異常の有無を確認し点検表に記録し、管理職が確認する。修理等が必要な場合は学校が直接修理したり、業者が対応する。遊戯施設は、専門業者に年次点検を委託している。台帳に記録し、その都度修理等対応する。

問

耐用年数を超えた遊具の危険な箇所・改善箇所は。

参事
事務局

適正な管理がさされていれば、標準使用期間を超えても使用できる。中には、設置から約30年経過するものもある。チェーン部分などの消耗品交換等を含めると、2・3年で4件程度修理がある。

問

重大な事故が発生した場合の管

理責任は、どこになるのか。

参事
事務局

自治体、町になる。

問

里西小学校の運動場北フェンスが切れ穴も開き危険。いつ設置され、学校から要望が出ていないのか。

参事
事務局

設置から30年経過している。錆が浮いたり、ネットの劣化により切れているのは確認している。ネットも点検対象工作物として点検している。近年度中、改修が必要。

町長

子ども達が一番安心して教育を受けたり、学校生活の中で友達と遊んだりと安全確保の意味で、再度確認し、状況によっては早急に対応したい。

問

各学校の危険箇所の改修要望は。

参事
事務局

改修や修繕の内容は沢山出ています。全ての要求に対応は

問

つばきの丘運動公園や各公園にある遊具等の点検は。危険箇所は。

参事
事務局

つばきの丘運動公園での遊具点検は、毎月管理人が目視または触診による点検を実施。危険箇所の把握は、作業員等の情報や2週間に1回管理人が敷地内を直接確認し、安全確保を行っている。

開園10年を迎え、遊具点検を専門業者に依頼し、老朽化した箇所の修繕工事を実施した。

参事
事務局

地域の公園は、点検を行い、遊具だけでなく、フェンス・休憩施設等の危険箇所を早期発見・除去、修理対応をしている。

問

現在、危険な箇所があると思うが、公園施設で直す所が

あるのか。

参事
事務局

今年度は全施設37箇所内、修繕を9件予定している。

問

今後の予定は今までどおりの継続か、変更はあるのか。

参事
事務局

農林建設課 遊具は毎月点検、危険箇所等は2週間に1回の点検を継続し、その都度できる範囲で早急に対応する。各施設の安全は現在保たれているので、今後も引き続き継続的に点検を実施したい。



遊具で楽しむ子どもたち

シリーズ こんな活動 しています! 第3回

今年十一年目を迎えた「里庄手話サークルわかば」です。
会員は里庄町在住者だけでなく、倉敷市や近隣の地域からも参加しています。

普段の活動は、ろう者の皆さんに、生活の中で使う言葉、流行っている言葉や時候のテーマに沿った話を手話で表現して頂き、読み取りの練習をしたり、一人ずつ単語や文章を手話で表現し、「意味に合った表現が出てくるか」「内容と表情は合っているか」など、優しく、時に厳しく丁寧に指導して頂いています。

昨年からは、感染予防の為、以前の様なサークルの開催は難しい状態でしたが、貴重な開催日にはフェイスシールドや透明

里庄手話サークルわかば

代表者 山本 三枝

マスクで参加しています。ろう者にとって、口元の動きや表情もコミュニケーションを取る上で、とても大切なからです。いつもは声をしぼって熱心に学んでいる静かなサークルも、歓声があふれる時があります。他のサークルとの交流会やクリスマス会では、グループの勝利目指し、様々なゲームに奮闘しています。この時ばかりは応援や歓声、笑顔もいっぱい!! みんなで一緒に楽しみながら「手話」が学べるサークルです。

「手話」に興味のある方も、まだない方も、いつでもドアは開いています。どうぞ遊びに来て下さいね。



【あつがとう】
里庄の手話サークルわかばのメンバーです。

《第105号》

令和3年7月30日 発行

発行／岡山県 里庄町議会
〒719-0398
岡山県浅口郡里庄町
TEL(0865)64-7217
FAX(0865)64-3618

編集／議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satosho.lg.jp

●あとかき

暑い夏がやってきました。
コロナウイルスも怖いですが、
熱中症にも注意が必要です。
感染対策をしながら、こまめに水分補給をして熱中症を予防しましょう。

(藤井)

編集委員

委員長: 小野光章 副委員長: 藤井典幸 委員: 仁科千鶴子 委員: 佐藤耕三



令和3年第5回定例会は9月3日(金)から始まる予定です。